

2016年10月27日

第4回プラチナ大賞においてウェルシイの「地下水膜ろ過システムによる 国内外の持続可能なまちづくりへの貢献」で優秀賞を受賞

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社ウェルシイ

株式会社三菱ケミカルホールディングス(本社:東京都千代田区、社長:越智 仁、以下「三菱ケミカルホールディングス」とグループ会社である株式会社ウェルシイ(本社:東京都品川区、社長:宮田 栄二、以下「ウェルシイ」))は、プラチナ構想ネットワーク及びプラチナ大賞運営委員会が主催する第4回プラチナ大賞において、ウェルシイが取り組む「地下水膜ろ過システムによる国内外の持続可能なまちづくりへの貢献」で、優秀賞を受賞しました。

プラチナ構想ネットワークは、日本が先進国として直面する、人口減少、高齢化、エネルギー問題などの課題の解決と新たな可能性の創造によってもたらされる豊かで快適な社会を「プラチナ社会」と定義しており、プラチナ大賞は、イノベーションによる新産業の創出やアイデアあふれる方策などによりそれら課題を解決している自治体や企業などの取り組みを表彰し、プラチナ社会のモデルとして紹介することを目的としています。

ウェルシイの主力事業である、地下水を水源とすることによって公共水道と併せた水源の二元化を可能とする「地下水膜ろ過システム」は、地震などの災害により断水し、復旧まで長時間を要するような状況の中で、水の備えを確実にすることを目的に開発されました。先般の熊本地震において公共水道が停止した際も、地下水膜ろ過システムは導入先の病院等の施設すべてで平常通り稼働を続けました。また、導入先の4病院では、災害時用蛇口を開放し、断水で苦しむ近隣住民の方々にも水を無償で提供することができました。

また、非常時の水供給だけではなく、2013年には、国連開発計画(UNDP)との共同事業で、ケニアの農村部に川の水を原水とした緩速ろ過装置を設置し、水の浄化と市場価値の高い伝統野菜を復活させることで、低所得者層である現地住民の収入向上と経済的な自立支援を行う等、現地住民が主役となる水と農作物の販売モデルを構築しました。

ウェルシィのこのような持続可能なまちづくりへの貢献が評価され、今般優秀賞を受賞しました。三菱ケミカルホールディングスおよびウェルシィは、「持続可能な社会実現のため、社会・環境問題に積極的にチャレンジする」グループの KAITEKI ビジョンのもと、課題解決へ向けた新たなソリューションを提供し、プラチナ社会の実現に貢献します。

【2016年10月26日開催された授賞式】



左から、プラチナ大賞審査委員長 吉川 弘之様、三菱ケミカルホールディングス取締役社長 越智仁、三菱ケミカルホールディングス経営戦略室(総合・ケミカル)KAITEKI グループマネジャー 神田三奈、ウェルシィ取締役社長 宮田 栄二、プラチナ構想ネットワーク会長 小宮山 宏様

以上

本件に関するお問合せ先
(株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
電話: 03-6748-7140
(株)ウェルシィ 営業本部
電話:03-6748-7484